

Future.



目指すべき進路に向けて

～計画的な行動、準備は万全に～

<学年主任より>

3年生として、夏休み以降からは、「勉強をがんばらなくては」と思っている生徒が多く見られます。この気持ちを持ち続けられるかが、自分にとって良い結果につながるかどうかのカギだと思います。

「できる自分」「やれる自分」を信じて、簡単にあきらめるのではなく、妥協せず、粘り強く頑張ることで自分の目標を達成してくれることを期待しています。また、なかなか学習に取り組めない、成果がついてこないという話も耳に入ってきます。しかし、そこで歩みを止めてしまうとそこまでの力しか身につけていない状態となってしまう。1月・2月に受験をひかえているからこそ、残りの日々をどう過ごしていくかが重要となります。後悔が残らないように今できる準備に最善を尽くしていけるようご支援お願いいたします。

「為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」
～江戸時代の米沢藩主 上杉鷹山の言葉～

<学年の様子>

学校生活のひとときを大切に…。



<三者面談に向けて事前にご家庭で検討をお願いいたします>

・やりたいことが実現できる環境が整っているのか、通学、進学実績、校風、説明会での印象、学力など、総合的に判断して、志望校を検討する。

【国・公立高校】

○現時点で、2校程度に絞り、今後の学力の推移によってどちらにするのかを冬休み中に検討し、最終的に1校に絞る。

【就職・その他】

○就職を希望する場合、公共職業安定所で求人情報を主に、希望する職種に合わせて就職を目指す。
…その他、上記にない進路を希望する場合には、保護者とよく相談した上で、担任と意見交換する。

【私立高校・サポート校】

○志望校決定。募集要項を基に、専願・併願など受験区分、学科やコースなどを決定する。
…入試相談の有無や成績が基準値を越えているのかを再度確認しておく。
…複数の私立高校を受験する場合、出願方法、受験日、延納金の有無を確認しておく。
…高校によっては、スライド方式・チャレンジ方式での合格がある。その場合、進学する意思の有無も決めておく。

★私立高校に関しては、11月末の時点（三者面談）で受験校を決定します。

12月からは、出願準備期間に入ります。（登録や出願などについてご不明な点は学校まで）

第2回三者面談

(11月18日～25日)

- ①生徒本人の意志を確認します。（主に志願理由）
- ②保護者の方の考えを確認します。
- ③担任の考えを伝えます。成績や特別活動だけでなく、生活面、学習態度、実力テストの推移などを資料として、志望校と一緒に検討します。

- 公立高校・・・志望校を確認（2校程度）
- 私立高校・・・志望校の決定。学科や区分の確定。
・・・入試相談の有無の決定。
- 就職・その他・・・就職先やその他の進路先の決定。
※年内に試験・検査がある場合は受付期間に注意。

○調査書記載事項確認 & 受験校確認書（11月12日配付）

※調査書記載事項確認 17日(三者面談前)提出完了 受験校確認書 27日(三者面談後)提出完了

<保護者のみなさまへ>

先日配信メールでもお知らせさせていただきましたが、11月の集金が今年度最後の集金となります。残金につきましては、今後の進路対策費や卒業記念品等(アルバム・記念CD)の購入に当てさせていただきます。詳細が出ましたら、会計報告にてお知らせさせていただきますので、ご承知おきください。
長い間、本校3学年の集金にご協力いただき、誠にありがとうございました。